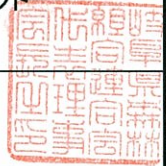


Ver 1.2

オフセット・クレジット(J-VER)制度に基づく 温室効果ガス吸収プロジェクト計画書

プロジェクト名	岐阜県中津川市苗木財産区による間伐促進型森林吸収プロジェクト ～苗木っこを育む森林づくり～
プロジェクト 代表事業者名	岐阜県森林組合連合会



提出日 平成 23 年 1 月 25 日

受理日 平成 年 月 日

最終版提出日 平成 23 年 1 月 21 日

A:参加者情報			
プロジェクト代表事業者 ※1			
事業者名(フリガナ)	岐阜県森林組合連合会(ギフケンシンリンクミアイレンゴウカイ)		
住所	岐阜市六条江東2丁目5番6号		
代表者氏名	矢口貢男	担当者氏名	山下篤志
担当者所属	森林再生プラン推進室	担当者役職	室長
担当者 E-mail	a-yamashita@g-moriren.or.jp	担当者電話番号	058-275-4897
プロジェクトでの役割	事業コンサルティング、モニタリングの実施、事務手続き		
プロジェクト事業者 ※2			
事業者名(フリガナ)	岐阜県中津川市苗木財産区(ギフケンナカツガワシナエギザイサンク)		
住所			
代表者氏名	大山耕二	担当者氏名	横山隆夫
担当者所属	企画部苗木コミュニティセンター	担当者役職	統括主幹
担当者 E-mail		担当者電話番号	0573-66-1301
プロジェクトでの役割	森林所有者、森林施業の実施		
プロジェクト参加者 ※3,4			
事業者名(フリガナ)			
住所			
代表者氏名		担当者氏名	
担当者所属		担当者役職	
担当者 E-mail		担当者電話番号	
プロジェクトでの役割			
オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者 ※5			
事業者名(フリガナ)	岐阜県森林組合連合会(ギフケンシンリンクミアイレンゴウカイ)		
オフセット・クレジット(J-VER)口座番号 ※6			
ダブルカウントの防止措置を講ずる事業者	岐阜県森林組合連合会		

公的な報告・公表制度	該当なし
自主的な報告・公表対象	岐阜県森林組合連合会および苗木財産区の WEB サイトにおいて報告・公表する。

- ※1:プロジェクト代表事業者のパンフレット等、事業内容の説明資料を別途添付すること。プロジェクト代表事業者以外の主なプロジェクト事業者・プロジェクト参加者についてもパンフレット等を添付すること。
- ※2:プロジェクト事業者とは、当該プロジェクトの実施に携わる者のうち、実際に温室効果ガス吸収活動を実施する者を指す。プロジェクト代表事業者と同一の場合は、その旨を記載すること。
- ※3:プロジェクト参加者とは、プロジェクト代表事業者・プロジェクト事業者以外に当該プロジェクトの実施に携わるすべての者を指す。
- ※4:プロジェクト参加者が複数いる場合には、それぞれの参加者の役割及び関係の概要を説明した資料を添付すること。
- ※5:オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者は、プロジェクト代表事業者、プロジェクト事業者、プロジェクト参加者のうちのいずれかであること。
- ※6:オフセット・クレジット(J-VER)口座番号は、口座未取得の場合は記入不要。
- ※7:オフセット・クレジット(J-VER)の発行がなされる場合、ダブルカウントを避けるための所要の措置をとる義務が生じる。詳細は、オフセット・クレジット(J-VER)制度利用約款を参照すること。

B:プロジェクト活動の概要①	
.1 プロジェクト活動	項目
	<p>B.1.1 プロジェクトの目的及び内容</p> <p>【目的】</p> <p>苗木財産区の森林は、明治初期に乱伐されたことが原因で禿山化し、水不足や異常出水が頻繁に発生するようになった。以来今日まで、森林の重要性に気づいた地元住民を中心に森林整備を進め、当時の植栽木は成熟期を迎えるまでになった。今後も持続可能な森林づくりを次代に継承していくため、人が関与する森林づくりが CO₂ 吸収量維持など地球環境維持に貢献しているという見える指標を持ち、木材生産をしながらもここまで育ててきた豊かな森林環境を再び失うこと無く、健全な森づくりを継続できるようにする目的をもって臨むものである。また、本プロジェクトで得られた資金は、森林管理費用のほか次世代を担う子供たちへの教育啓蒙活動費にも充てる計画をもっている。</p> <p>【内容】</p> <p>苗木財産区は本プロジェクトに参加することにより、森林経営と同時に温室効果ガス吸収事業者であることの責務を再認識し、森林管理・施業技術の高度化を目指すこととする。この中で、森林整備については、林床植生の充実による水源かん養機能の強化、表層有機土壌の流出防止等の保全対策、木材生産と生物多様性の保全の両立、CO₂ 吸収等の環境保全機能の充実とその提供を行うため、間伐等積極的な森林施業を行いながら従来の施業体系を随時見直すものとする。</p> <p>プロジェクトの推進体制は申請に係る事務手続き及びモニタリング調査等をプロジェクト代表事業者である岐阜県森林組合連合会が行う。間伐施業の実施や区民への普及、啓蒙活動をプロジェクト事業者である岐阜県中津川市苗木財産区が行う。</p>

B.1.2 プロジェクト実施前の状況

【苗木財産区所有森林の状況】

年齢	種類	人工林					小計	天然林					小計	合計	
		すぎ	ひのき	あかまつ くろまつ	からまつ	その他 広葉樹		すぎ	ひのき	あかまつ くろまつ	からまつ	その他 針葉樹			その他 広葉樹
1年齢	面積		169				169							0	169
	蓄積						0							0	0
2年齢	面積						0							0	0
	蓄積						0							0	0
3年齢	面積						0							0	0
	蓄積						0							0	0
4年齢	面積		667		26		693							0	693
	蓄積		1,625		10		1,635							0	1,635
5年齢	面積		375		4		379						5	5	384
	蓄積		2,819		2		2,821						4	4	2,825
6年齢	面積		1,758		47		1,805							0	1,805
	蓄積		2,707		36		2,743							0	2,743
7年齢	面積		2516				2516							0	2516
	蓄積		4,184				4,184							0	4,184
8年齢	面積		1631		14		1645						80	80	1725
	蓄積		3,284		10		3,294						36	36	3,330
9年齢	面積		4248				4248			5			14	19	4267
	蓄積		8,055				8,055			4			22	26	8,081
10年齢	面積		3864		796		4660						295	295	5291
	蓄積		9,362		887		10,249						386	386	11,071
11年齢	面積		5261		2444		7705			15			366	381	8086
	蓄積		14,063		2,141		16,204			21			494	515	16,719
12年齢	面積		148		236		384			36		808	82	926	1310
	蓄積		411		234		645			100		944	114	1,158	1,803
13年齢	面積		43		65		108					197	25	222	334
	蓄積		133		94		227					224	35	259	491
14年齢	面積		784		459		1,243			58		253	27	338	1581
	蓄積		2,534		583		3,117			167		371	31	569	3,686
15年齢	面積		692		764		1,456					178	243	421	1932
	蓄積		1,858		894		2,752					260	328	588	3,405
16年齢	面積		2,950		2,783		5,733			208		497	1,702	6,889	12,622
	蓄積		10,229		2,723		12,952			672		2,259	2,570	10,501	23,453
17年齢	面積		1,445				1,445					2	1	3	1,448
	蓄積		5,407				5,407					4	2	6	5,413
18年齢	面積		126		598		724			296		327	411	3,986	4,904
	蓄積		418		952		1,370			1,194		5,042	635	6,871	8,542
19年齢	面積						0							0	0
	蓄積						0							0	0
20以上	面積		14				14							0	14
	蓄積		42				42							0	42
合計	面積		26,691		8,236		34,927			0		598	9,716	0	44,643
	蓄積		67,131		8,566		75,697			0		2,133	14,129	0	89,923
ソノ総計			天然林 伐採跡地		人工林 伐採跡地		岩地・崩壊 更新困難地		834	その他 未立木地		101	竹林		面積総計 50,016

【プロジェクト対象森林の状況】


年齢	種類	人工林					小計	天然林					小計	合計	
		すぎ	ひのき	あかまつ くろまつ	からまつ	その他 広葉樹		すぎ	ひのき	あかまつ くろまつ	からまつ	その他 針葉樹			その他 広葉樹
1年齢	面積						0							0	0
	蓄積						0							0	0
2年齢	面積						0							0	0
	蓄積						0							0	0
3年齢	面積						0							0	0
	蓄積						0							0	0
4年齢	面積		12.01				12.01							0	12.01
	蓄積		564				564							0	564
5年齢	面積		3.89				3.89							0	3.89
	蓄積		357				357							0	357
6年齢	面積		5.13				5.13							0	5.13
	蓄積		652				652							0	652
7年齢	面積		15.28				15.28							0	15.28
	蓄積		2,343				2,343							0	2,343
8年齢	面積		0.66				0.66							0	0.66
	蓄積		106				106							0	106
9年齢	面積		7.7				7.7							0	7.7
	蓄積		1,773				1,773							0	1,773
10年齢	面積		19.43				19.43							0	19.43
	蓄積		5,092				5,092							0	5,092
11年齢	面積		42.54				42.54							0	42.54
	蓄積		10,469				10,469							0	10,469
12年齢	面積		18.44				18.44							0	18.44
	蓄積		4,564				4,564							0	4,564
13年齢	面積						0							0	0
	蓄積						0							0	0
14年齢	面積						0							0	0
	蓄積						0							0	0
15年齢	面積		3.08				3.08							0	3.08
	蓄積		951				951							0	951
16年齢	面積		3.81				3.81							0	3.81
	蓄積		1,462				1,462							0	1,462
17年齢	面積		12.98				12.98							0	12.98
	蓄積		5,127				5,127							0	5,127
18年齢	面積						0							0	0
	蓄積						0							0	0
19年齢	面積						0							0	0
	蓄積						0							0	0
20以上	面積						0							0	0
	蓄積						0							0	0
合計	面積		144.95		0		144.95			0		0	0	0	144.95
	蓄積		33,460		0		33,460			0		0	0	0	33,460
ソノ総計			天然林 伐採跡地		人工林 伐採跡地		岩地・崩壊 更新困難地		0	その他 未立木地		竹林		面積総計 144.95	

	<p>B.1.3 排出削減・吸収の達成手段</p> <p>＜R001 又は R002 の場合＞</p> <p>【間伐間隔】</p> <p>ヒノキ林のシステム収穫表として作成された「シルブの森岐阜県東濃ヒノキ版(岐阜県森林研究所)」が現地事情に最も適していることから、これを参考にして苗木財産区における林分の樹幹解析を行い、このデータをもとに密度管理図を作成している。これによれば初回間伐は 20 年生で以降 10 年ごとに実施し、60 年生までで上層木の間伐を終えることにしているが、地位その他諸条件によって成長の悪い場合はその都度施業間隔を見直すことにしている。</p> <p>【定量間伐か、定性間伐か】</p> <p>上記密度管理図では定量間伐が示されている。場所によっては間伐の林齢になっても胸高直径が目安とする太さになっていないことがあるので、形質不良木だけの定性間伐をすることがある。</p> <p>【間伐率】</p> <p>本数ベースで 15～40%とする(添付資料①:中津川市森林整備計画書 P13 参照)</p> <p>中津川市では『高齢級間伐促進事業』という補助制度(添付資料②:中津川市高齢級間伐促進事業費補助金実施要綱参照)があり、要綱で「8 齢級以上 18 齢級までのスギ、ヒノキ等人工林において本数率で原則 30%以上の間伐を実施し、搬出の有無にかかわらず補助対象とする」と謳っており、高齢級林分においても間伐対象としている。</p> <p>【その他の削減・吸収達成手段】</p> <p>管理経営方針で地球温暖化防止等の環境保全対策を念頭に置いた森林整備を進めるよう表明している。「伐って植える」循環型林業のために国産材丸太をより活用するための伐出、加工生産、流通などのコストダウンを課題とし、国産材を残すところなく活用する技術(バイオマス利用等)にも協力する体制をとっている。</p>
--	---

B.2 採用 技術	プロジェクトで使用する設備・機器等 (プロジェクトで使用する機器名称、機器メーカー名、型番、機器容量、法定耐用年数、導入年月、用途等について記載すること。(モニタリングに用いた機器は、最新のものに限らず全て記載すること))				
	機器名	メーカー名	耐用年数	導入時期	用途
	Impulse & Mapstar	LTI	5	2006	測量
	"	LTI	5	2006	測量
	"	LTI	5	2006	測量
	"	LTI	5	2006	測量
	"	LTI	5	2006	測量
	TruPulse360	LTI	5	2007	測量/樹高測定
	R110	Hemisphere	5	2007	GPS 受信
	747Pro	Transystem	5	2010	GPS 受信
	"	Transystem	5	2010	GPS 受信
	"	Transystem	5	2010	GPS 受信
	747A+	Transystem	5	2009	GPS 受信
	747A+	Transystem	5	2010	GPS 受信
	747	Transystem	5	2008	GPS 受信
	Archer	JuniperSystem	5	2007	PDA
	RECON	NiconTrimble	5	2006	PDA
	"	NiconTrimble	5	2006	PDA
	"	NiconTrimble	5	2006	PDA
	"	NiconTrimble	5	2006	PDA
	"	NiconTrimble	5	2006	PDA
	輪尺	Husqvarna	5	2002	DBH 測定
	"	Husqvarna	5	2002	DBH 測定
	"	Husqvarna	5	2002	DBH 測定
"	Husqvarna	5	2010	DBH 測定	
B.3	実施事業所名	岐阜県中津川市苗木財産区			

プロジェクト ト 実施場所	(プロジェクト実施場所)						
	森林施業計画の小班	市町村	大字	字	地番	面積(ha)	蓄積(m ³)
	3-イ-52-0	中津川市	高山	若山	2199-2	18.86	4,174
	7-イ-1-0	中津川市	高山	若山	2199-2	10.37	3,110
	13-ロ-5-0	中津川市	苗木	高峰	642-18	12.98	5,127
	18-イ-6-0	中津川市	苗木	高峰	642-1	2.76	342
	18-ハ-1-0	中津川市	苗木	高峰	642-3	0.81	101
	19-イ-15-0	中津川市	苗木	高峰	642-1	0.64	116
	19-イ-18-0	中津川市	苗木	高峰	642-1	1.12	224
	19-ハ-23-0	中津川市	苗木	高峰	642-3	0.68	136
	11-ヘ-7-0	中津川市	苗木	高峰	642-1	0.14	22
	18-ハ-3-0	中津川市	苗木	高峰	642-3	0.64	158
	11-ヘ-8-0	中津川市	苗木	高峰	642-1	0.22	67
	18-ロ-20-0	中津川市	苗木	高峰	642-1	0.55	23
	19-イ-16-0	中津川市	苗木	高峰	642-1	3.59	1,395
	19-イ-17-0	中津川市	苗木	高峰	642-1	0.64	241
	43-イ-12-1	中津川市	苗木瀬戸入会	峠	1-1	2.16	302
	43-イ-12-3	中津川市	苗木瀬戸入会	峠	1-1	3.07	429
	43-イ-9-2	中津川市	苗木瀬戸入会	峠	1-1	4.35	865
	11-ホ-1-0	中津川市	苗木	高峰	642-3	0.24	24
	11-ホ-3-0	中津川市	苗木	高峰	642-3	0.17	17
	11-ホ-6-0	中津川市	苗木	高峰	642-3	0.22	44
	11-ヘ-2-0	中津川市	苗木	高峰	642-1	2.02	274
	11-ヘ-4-0	中津川市	苗木	高峰	642-1	0.47	48
	11-ト-3-0	中津川市	苗木	高峰	642-3	0.88	85
	17-イ-3-0	中津川市	苗木	高峰	642-1	1.83	289
	17-イ-4-0	中津川市	苗木	高峰	642-1	0.22	39
	17-イ-5-0	中津川市	苗木	高峰	642-1	0.66	104
	19-イ-12-0	中津川市	苗木	高峰	642-1	2.15	323
	19-ハ-12-0	中津川市	苗木	高峰	642-3	0.27	35
	19-ハ-15-0	中津川市	苗木	高峰	642-3	0.69	89
	19-ハ-17-0	中津川市	苗木	高峰	642-3	0.36	46
	19-ハ-18-0	中津川市	苗木	高峰	642-3	0.24	39
	11-ホ-2-0	中津川市	苗木	高峰	642-3	2.24	545
	11-ホ-5-0	中津川市	苗木	高峰	642-3	0.85	207
	11-ホ-7-0	中津川市	苗木	高峰	642-3	0.37	90
	11-ト-7-0	中津川市	苗木	高峰	642-3	1.47	357
	11-ト-8-0	中津川市	苗木	高峰	642-3	0.52	84
	19-イ-20-0	中津川市	苗木	高峰	642-1	0.98	99
	19-イ-21-0	中津川市	苗木	高峰	642-1	0.60	61
	43-イ-1-0	中津川市	苗木瀬戸入会	峠	1-1	3.13	743
	43-イ-4-0	中津川市	苗木瀬戸入会	峠	1-1	0.05	12
	43-イ-5-0	中津川市	苗木瀬戸入会	峠	1-1	0.05	12
	43-イ-6-1	中津川市	苗木瀬戸入会	峠	1-1	2.77	574
	43-イ-9-4	中津川市	苗木瀬戸入会	峠	1-1	2.66	755
	43-イ-16-0	中津川市	苗木瀬戸入会	峠	1-1	1.97	528
	9-イ-3-0	中津川市	苗木	岩須	639-14	0.07	5
	9-イ-4-0	中津川市	苗木	岩須	639-14	4.49	175
	9-イ-5-0	中津川市	苗木	岩須	639-14	0.67	59
	9-イ-7-0	中津川市	苗木	岩須	639-14	4.20	122
	9-イ-8-0	中津川市	苗木	岩須	639-14	2.58	203
	18-イ-7-0	中津川市	苗木	高峰	642-1	0.51	63
	43-イ-3-0	中津川市	苗木瀬戸入会	峠	1-1	18.34	4,540
	43-イ-9-1	中津川市	苗木瀬戸入会	峠	1-1	9.81	2,786
	43-イ-12-2	中津川市	苗木瀬戸入会	峠	1-1	10.18	2,442
	43-イ-2-0	中津川市	苗木瀬戸入会	峠	1-1	2.44	710

住所

	<p>概要</p>	<p>資料 3-1 にプロジェクト対象地の位置図、プロジェクト対象地全体の地図等を示す。また、資料 3-2 に林内写真、航空写真、地形図を示す。</p> <p>プロジェクト実施場所は、中津川市南部の高峰山周辺で、既間伐実施箇所は頂上直下の「水源」地区と旧福岡町、旧蛭川村との境にある丘陵地形を呈する「若山(高山側)」地区の二箇所である。当地は東濃ヒノキの主産地で人工林のほとんどはヒノキ林となっている。</p> 
--	-----------	---

B:プロジェクト活動の概要②							
B.4 プロジェクト期間		2007 年 4 月 1 日 ~ 2013 年 3 月 31 日(6 年 0 ヶ月)					
B.5 クレジット期間 ※1		2008 年 4 月 1 日 ~ 2013 年 3 月 31 日					
B.6 想定排出削減 ・吸収量 ※2	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO2	136	173	295	467	747	1,820
B.7 モニタリング報 告の頻度		2010 年度、2012 年度に実施予定					
B.8 補助金	受給の有無 (いずれかに○)	<input checked="" type="checkbox"/> 受給している / 申請中 / 検討中 / 受給しない					
	補助事業名称	2007 年 平成 19 年度森林整備事業(里山エリア交付金事業) 2009 年 平成 21 年度高齢級間伐促進事業					
	補助金額 (申請額含む)	4,982,316 円					
	補助対象年月日	2007 年 4 月 1 日~2010 年 3 月 31 日					
	補助金を受給している ことを証明する書類	平成 19 年度森林整備事業費補助金(造林事業費補助 金)の交付決定通知について 平成 21 年度高齢級間伐促進事業費補助金の交付決定 について					
B.9 他制度への申 請 ※3	申請の有無 (いずれかに○)	有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無					
	制度名 (有の場合のみ)	該当なし					

<p>備考</p>	<p>・林野火災発生の危険性と予防処置 林野火災の未然防止と被害軽減を図るため、「林野火災予防プログラム」を策定し、以下を実施している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 林野火災消防計画の樹立（交通と水利の便を把握し、消防機関と連携した計画） 2) 予防対策の実施と教育・訓練（区民や一般入山者への予防啓蒙、作業員への指導など） 3) 林野火災対策用設備・資機材の整備と点検 <ul style="list-style-type: none"> ・区有林巡回車に、「区有林内作業規定」に記した消火器・バケツほか、シャベルを備える。 ・林道脇に設置したドラム缶等の簡易水槽は、防御マップに位置を記録し、基数も増加する。 ・各地区における最寄りの消防水利を把握し、季節・時期による水位の変動も確認して制御マップに記録する。 ・予防策として「山火事注意」の標識を、林道の入り口や分岐点に現地の判る符号を振り設置。 <p>・病害虫の危険と予防措置 当地区においては、近年目立った病害虫の被害は認められないが、今後、植生に異常をもたらすような病害虫が発生した場合には、「苗木財産区林業薬剤等管理マニュアル」に基づき、周辺の動植物に影響を及ぼさないよう、薬剤の種類や散布量を協議し、最小限の薬剤を使用とする。</p> <p>・鳥獣害の危険性と予防措置 当地区においては、鳥獣害について目立った被害は認められないが、今後、やむを得ず薬剤を使用する場合は、「苗木財産区林業薬剤等管理マニュアル」に基づき、周辺の動植物に影響を及ぼさないよう、薬剤の種類や散布量を協議し、最小限の薬剤を使用とする。 また、必要な場合は、カルバートによるアンダーパスを設置して動物の移動路の確保や、側溝や集水枡等に落下した小動物の脱出のためのスロープの設置に努める。</p> <p>・自然災害の危険性と予防措置 当地区は、明治初期に乱伐されたことが原因で禿山化し、水不足や異常出水が頻繁に発生し、荒廃していたが、戦後から水源かん養を目指した植林し、森林整備を進め、現在に至る。 最近目立った自然災害は認められないが、近くに花崗岩の産地があり土壌は花崗岩が風化した「まさ土」が多く、想定される自然災害は、大雨等による土砂災害、台風や雪等による風倒木災害が発生する恐れがあり、以下の特定地を指定し、周囲で行なわれる施業により発生する残材や枝条等を放置しないなど、災害の予防に努める。 1) 水辺区域 2) 保護樹帯 3) 急傾斜地 4) 基岩の露出など特定地</p> <p>・巡視 財産区では、当地区を含む区有林の維持管理状況、事業実施状況及び森林管理規程の順守状況を把握することを目的に、財産区全議員による巡視を原則として年2回以上行い、境界が明確になっているか、森林整備計画に従って事業が適正に行われているか、作業道、注意看板及び財産記が管理する諸施設の破損はないか、土砂崩れ、河川の崩壊がないか、森林管理規程の厳正な履行が行われているか、など点検を行っている。 なお、委託管理者は森林管理規程3-3に基づき、災害の後など定められた巡視を行う。</p> <p>以上の状況及び対策により、プロジェクト排出量がプロジェクト吸収量を上回るリスクは低いと考えられる。</p> <p>モニタリング計画(県森林調査簿データに準拠)の樹種・混交率等と現地が一致していない箇所が発見された場合には、モニタリング調査時にデータを訂正し、吸収量算出の間違いが発生するリスクを回避する。</p> <p>①プロジェクトの吸収量やプロジェクトの実施に影響を与える現在もしくは将来的なリスク要因を特定する ②各リスク要因に対する影響の軽減措置を記述する (リスクの例については、「記入要領」を必ず参照のこと)</p>
-----------	---

※1:クレジット期間は、2008年4月1日～2013年3月31日の間で設定すること。

※2:想定排出削減・吸収量の算定根拠をモニタリングプランで提示すること。

※3:海外のVER制度や都道府県等のCO2吸収量認証等、類似制度への申請の有無を記入。これは、一つのプロジェクトによる排出削減・吸収量に基づくクレジットが複数創出される等の、ダブルカウントを避けるためである。

C:方法論の適用		
C.1 ポジティブリストの 適格性基準 との整合性	C.1.1 ポジティブリストの番号	No. R. <u>001 ver.3.1</u>
	条 件	説 明 ※1
	C.1.2 条件1	本プロジェクト対象地は、森林法第五条に該当する森林であり、中津川市森林整備計画に属する。
	C.1.3 条件2	<p>①本プロジェクトにおける森林経営活動の対象地は、資料2 森林施業計画書、資料3-1 森林計画図、資料3-2 空中写真図によって森林施業計画単位で申請され、森林施業計画内に収まっていることが確認できる。</p> <p>②同対象地内においては、クレジット発行対象期間内に主伐および土地転用は計画されていない。</p> <p>③間伐対象、間伐方法及び間伐率にあつては、添付資料 中津川市森林整備変更計画書 P.4 第4「間伐を実施すべき標準的な林齢、間伐及び保育の標準的な方法その他間伐及び保育の基準」に定義されている内容に従っている。</p> <p>④2007年4月1日以前の施業林分は対象としていない。</p>
C.1.4 条件3	<p>施業計画の認定番号 <u>2007-A67-0-005</u> 平成 19 年 10 月 17 日 施業計画の(変更)認定番号 <u>2007-A67-0-005[-01-2010]</u> 平成 22 年 11 月 26 日 自 平成 19 年 10 月 17 日 至 平成 24 年 10 月 16 日</p> <p>本プロジェクト実施地は森林認証(SGEC)を受けており、資料 2 森林施業計画書は、全国森林計画ならびに地域森林計画に基づく中津川市森林整備計画に照らし適当と認められるものである。</p>	

C.2 適用方法論	方法論番号	JRAM 001 ver.3.1																
	方法論名称	森林経営活動による CO ₂ 吸収量の増大(間伐促進型プロジェクト)に関する方法論																
C.3 適用するガイドライン等	C.3.1 ガイドライン等への準拠	<p>(オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドラインに準拠しない場合の説明)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>準拠の説明</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 全く準拠しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 一部準拠しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 全て準拠する</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 全て準拠する場合は、説明は不要。</p>		準拠の説明	説明	<input type="checkbox"/> 全く準拠しない		<input type="checkbox"/> 一部準拠しない		<input checked="" type="checkbox"/> 全て準拠する								
	準拠の説明	説明																
<input type="checkbox"/> 全く準拠しない																		
<input type="checkbox"/> 一部準拠しない																		
<input checked="" type="checkbox"/> 全て準拠する																		
C.3.2 ガイドライン等が複数ある場合の選択	<p>(オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドラインのモニタリングパターンを選択する場合)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>モニタリングパラメータ</th> <th>モニタリングパターン</th> <th>選択の理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">活動量</td> <td><input type="checkbox"/> 森林 GIS</td> <td rowspan="2">森林 GIS への反映は保安林整備事業における実測データを用いているため</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 実測</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">拡大係数</td> <td><input type="checkbox"/> 実測</td> <td rowspan="2">方法論に記載された「京都議定書 3 条 3 及び 4 の下での LULUCF 活動の補足情報に関する方向書」を選択</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">収穫予想表</td> <td><input type="checkbox"/> システム収穫表 (LYCS 等)</td> <td rowspan="2"> 地域性を考慮し岐阜地域のデータを使用 文献名: ヒノキ人工林 林分収穫表 林分密度管理図 一般地域(最深積雪深 1m 未満の地域) 岐阜県林政部 該当ページ: 付表 1 ヒノキ林分収穫表 12 ~ 16 ページ </td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 選択理由の説明においては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所の明示を行うこと。なお、説明に使用した資料は、名称及び添付資料番号を明記し、巻末の添付資料一覧に整理すること。</p>			モニタリングパラメータ	モニタリングパターン	選択の理由	活動量	<input type="checkbox"/> 森林 GIS	森林 GIS への反映は保安林整備事業における実測データを用いているため	<input checked="" type="checkbox"/> 実測	拡大係数	<input type="checkbox"/> 実測	方法論に記載された「京都議定書 3 条 3 及び 4 の下での LULUCF 活動の補足情報に関する方向書」を選択	<input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等	収穫予想表	<input type="checkbox"/> システム収穫表 (LYCS 等)	地域性を考慮し岐阜地域のデータを使用 文献名: ヒノキ人工林 林分収穫表 林分密度管理図 一般地域(最深積雪深 1m 未満の地域) 岐阜県林政部 該当ページ: 付表 1 ヒノキ林分収穫表 12 ~ 16 ページ	<input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)
モニタリングパラメータ	モニタリングパターン	選択の理由																
活動量	<input type="checkbox"/> 森林 GIS	森林 GIS への反映は保安林整備事業における実測データを用いているため																
	<input checked="" type="checkbox"/> 実測																	
拡大係数	<input type="checkbox"/> 実測	方法論に記載された「京都議定書 3 条 3 及び 4 の下での LULUCF 活動の補足情報に関する方向書」を選択																
	<input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等																	
収穫予想表	<input type="checkbox"/> システム収穫表 (LYCS 等)	地域性を考慮し岐阜地域のデータを使用 文献名: ヒノキ人工林 林分収穫表 林分密度管理図 一般地域(最深積雪深 1m 未満の地域) 岐阜県林政部 該当ページ: 付表 1 ヒノキ林分収穫表 12 ~ 16 ページ																
	<input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)																	

C.4 プロジェクトが実施されなかった場合の状態(ベースラインシナリオ)	C.4.1 ベースラインシナリオ(BLS)の特定	(プロジェクトが実施されなかった場合の状態(ベースラインシナリオ)の説明) 森林を適切な状態に保つために必要な間伐が 2007 年度以降に実施されていない状態						
		(ベースラインシナリオ特定に使用したデータの信頼性・入手可能性)						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">データの信頼性・入手可能性</th> <th style="width: 50%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 低い</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 低くない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	データの信頼性・入手可能性	説明	<input type="checkbox"/> 低い		<input checked="" type="checkbox"/> 低くない	
		データの信頼性・入手可能性	説明					
<input type="checkbox"/> 低い								
<input checked="" type="checkbox"/> 低くない								
(森林施業計画通りに施業を実施しない可能性に関する情報)								
		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">施業計画通りに実施しない可能性</th> <th style="width: 50%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 可能性がある</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施業計画通りに実施しない可能性	説明	<input type="checkbox"/> 可能性がある		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない	
施業計画通りに実施しない可能性	説明							
<input type="checkbox"/> 可能性がある								
<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない								
		(プロジェクトの対象である森林が転用される可能性に関する情報)						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">転用の可能性</th> <th style="width: 50%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 可能性がある</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	転用の可能性	説明	<input type="checkbox"/> 可能性がある		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない	
転用の可能性	説明							
<input type="checkbox"/> 可能性がある								
<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない								

	<p>C.4.2BLS に 関連した温 室効果ガス 排出源・吸収 源の特定</p>	<p>(温室効果ガス排出源・吸収源)</p> <table border="1" data-bbox="550 324 1396 571"> <thead> <tr> <th>温室効果ガス排出源・吸収源</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森林プロジェクトで対象となる排出源・吸収源</td> <td>地上部バイオマス 地下部バイオマス</td> </tr> <tr> <td>上記に含まれないプロジェクト固有の排出源・吸収源</td> <td>該当なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>リーケージに関しては、以下のリストから該当するものがあればボックスにチェックを入れること。また、チェックしたリーケージは、モニタリングプランにおいて定量化すること。</p> <table border="1" data-bbox="550 806 1396 1153"> <thead> <tr> <th>リーケージの種類</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/>本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外での吸収量を減少させる活動の増加</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外における排出量を増加させる活動の増加</td> <td>該当なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>(温室効果ガス排出源・吸収源を特定するために使用した追加的な基準)</p> <table border="1" data-bbox="550 1276 1396 1478"> <thead> <tr> <th>温室効果ガス排出源・吸収源特定のための追加的な基準</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/>使用</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/>使用しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	温室効果ガス排出源・吸収源	説明	森林プロジェクトで対象となる排出源・吸収源	地上部バイオマス 地下部バイオマス	上記に含まれないプロジェクト固有の排出源・吸収源	該当なし	リーケージの種類	説明	<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外での吸収量を減少させる活動の増加	該当なし	<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外における排出量を増加させる活動の増加	該当なし	温室効果ガス排出源・吸収源特定のための追加的な基準	説明	<input type="checkbox"/> 使用		<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない	
温室効果ガス排出源・吸収源	説明																			
森林プロジェクトで対象となる排出源・吸収源	地上部バイオマス 地下部バイオマス																			
上記に含まれないプロジェクト固有の排出源・吸収源	該当なし																			
リーケージの種類	説明																			
<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外での吸収量を減少させる活動の増加	該当なし																			
<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外における排出量を増加させる活動の増加	該当なし																			
温室効果ガス排出源・吸収源特定のための追加的な基準	説明																			
<input type="checkbox"/> 使用																				
<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない																				
<p>C.5 排出量・ 吸収量の定 量化</p>	<p>C.5.1 不確かなデータの使 用</p>	<p>(吸収量の定量化における不確かなデータの使用)</p> <table border="1" data-bbox="550 1624 1396 1814"> <thead> <tr> <th>不確かなデータの使用</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/>使用する</td> <td>(不確かなデータを使用することによる吸収量の過大評価がないことを説明すること。)</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/>使用しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	不確かなデータの使用	説明	<input type="checkbox"/> 使用する	(不確かなデータを使用することによる吸収量の過大評価がないことを説明すること。)	<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない													
不確かなデータの使用	説明																			
<input type="checkbox"/> 使用する	(不確かなデータを使用することによる吸収量の過大評価がないことを説明すること。)																			
<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない																				

	C.5.2 モニタリング対象とならない排出源・吸収源	<p>(モニタリングプランを作成する上で、モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源が存在する)</p> <table border="1" data-bbox="549 371 1396 613"> <thead> <tr> <th data-bbox="549 371 868 517">モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源</th> <th data-bbox="868 371 1396 517">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="549 517 868 566"><input type="checkbox"/> 存在する</td> <td data-bbox="868 517 1396 566"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="549 566 868 613"><input checked="" type="checkbox"/> 存在しない</td> <td data-bbox="868 566 1396 613"></td> </tr> </tbody> </table>	モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源	説明	<input type="checkbox"/> 存在する		<input checked="" type="checkbox"/> 存在しない	
モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源	説明							
<input type="checkbox"/> 存在する								
<input checked="" type="checkbox"/> 存在しない								
C.6 モニタリングプロットの設置		<p>(モニタリングプロットの設定方法に関する記述)</p> <p>設定方法の手順を以下に示す。</p> <p>①モニタリング方法ガイドライン(森林管理プロジェクト用 Ver.1.8)のモニタリングプロット設定方法に従い、対象小班を特定</p> <p>②近接し、樹種、林齢、地形が類似している小班をグループ化</p> <p>③地形図上での検討および現地踏査の結果、尾根部と谷部に偏らない平均的な成長量とされる中間斜面を選定し各モニタリングプロットを設定</p> <p>(モニタリングプロットに対応した資料の準備)</p> <p>資料 3-3 を参照</p>						
C.7 備考								

※1: ポジティブリストの条件を全て満たすことを、証拠書類等をもとに説明する。説明にあたっては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所の明示を行うこと。なお、説明に使用した資料は、名称及び添付資料番号を明記し、巻末の添付資料一覧に整理すること。

D:その他				
D.1 関連する許認可及び関連法令	<p>(想定される関連法令等については、別紙「オフセット・クレジット(J-VER)制度における手続きについて」の方法論ごとの記載を参照のこと)</p> <p>なお、ここに記載した法令等は、あくまでも想定される主な法令であり、他にも関連する法令等の有無について確認すること。</p>			
			該当しない	該当する
	1	森林・林業基本法	<input type="checkbox"/>	<p>■第 9 条森林所有者としての責務</p> <p>□その他(具体的に:)</p>
	2	森林法	<input type="checkbox"/>	<p>■第 5 条地域森林計画</p> <p>■第 11 条森林施業計画</p> <p>■第 25 条保安林(水源かん養保安林、保健保安林)</p>
	3	森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法(間伐等促進法)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	4	種の保存法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	5	鳥獣保護法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	6	騒音規制法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	7	景観法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	8	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	環境影響評価法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
D.2 ステークホルダー(森林所有者、森林管理者、森林管理費用負担者等)のコメント	<p>苗木財産区は本プロジェクトにおいて J-VER 代表事業者を岐阜県森林組合連合会として事業実施することを議会において決議している。</p> <p>対象森林の山林所有者は、本プロジェクト事業者の苗木財産区のみである。</p>			
D.3 その他特記事項	<p>対象地は SGEC 認証森林であるとともに、財産区有林内にある生活環境保全林「夜明けの森」周辺では各種グループによる生物多様性保全活動や自然観察学習会等に場所を提供している。</p>			